

大阪オリジナルぶどう

新愛称「虹の雫」に決定

大阪府は8月18日にぶどうエキスポ2023@てんしばを開催。大阪オリジナルぶどうの新たな愛称を「虹の雫」に決定したことを発表した。

これまでの呼称は「ポインタ」。約50年前に大阪府農林技術センター(現「地独」大阪府立環境農

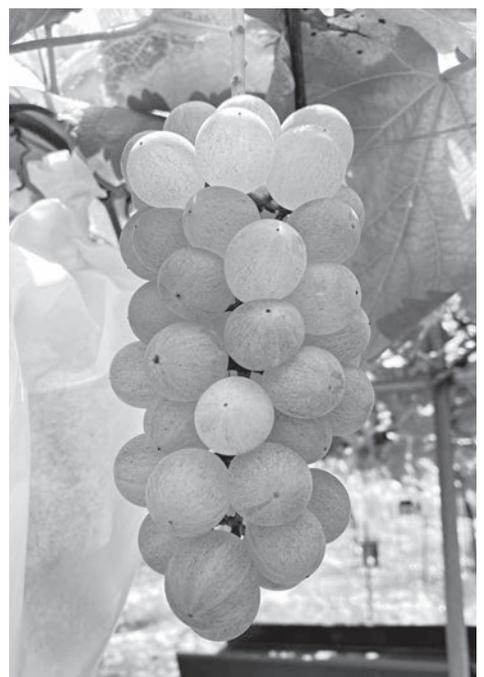
林水産総合研究所)が大阪独自品種の開発に着手し、紆余曲折を経て平成30年に品種登録された。

府は本格的な普及に取り組みにあたり、新たな愛称を一般公募。700通超の応募の中から「虹の雫」が選ばれた。

虹の雫は巨峰系統の3倍体ブドウで糖度が高く芳醇な香りが特徴。黄緑色、黄色、薄紅色と収穫時期によって色が変わっていく珍しいブドウだ。

当日は試食も実施した。原田環境農林水産部長は「新たな愛称『虹の雫』を覚えていただき、ぜひ周りの方々に美味しさを伝えてほしい」と呼び掛けた。

(田村)



府は今後「虹の雫」の本格的な普及に取り組む
(写真提供・大阪府環境農林水産部農政室)

随 想

私が所属する大阪府生活協同組合連合会は、大阪府内の33の生活協同組合(生協・コープ)が加盟している生協の連合会です。

生協と聞いて多くの人が思いつくのは、トラックで食料品などの配達やスーパーマーケットだと思います。このような生協は「地域(購買)生協」と言い、弊会には10生協が加盟しています。

その他に、診療所や病院での医療事業や、施設や訪問等による介護事業を行う「医療生協」が7生協、大学のキャンパスで、食堂や、書籍・文具の売店等を展開する「大



大阪産で大学生の食を支援 「協同組合」を知る機会にも

大阪府生活協同組合連合会

事務局長 小山 正人

学生協」が12生協、企業等の社員の福利厚生に関わる事業を行う「職域生協」が2生協、共済等の保証事業を行う「共済生協」が2生協加盟しています。このように生協は、消費者の

はさまざまでした。「地域(購買)生協」は、ご家庭まで食品を届けてくれる利便性から、組合員の生協利用が大きく伸びました。現在はコロナ禍前に戻りつつある状況です。

暮らしに関わる様々な事業を行っているっており、大阪府内では平均で、世帯の3軒に1軒は、地域生協の組合員という状況です。さて、コロナ禍では、先の生協の事業種別により、その影響

一方、「大学生協」は、休校やオンライン授業の普及により、大学に学生が来ない状況が長く続いた為、厳しい経営状況となりました。事業や人員配置の見直し等により、何とか局面を乗

り切ってきました。

現在は、授業も対面に戻り、キャンパスに大学生が戻っては来ましたが、コロナ禍によって大学生のキャンパスライフが変化し、サークル活動等の減少から、キャンパス滞留時間は短くなり、大学生協の利用改善には繋がっていません。

このコロナ禍で、弊会では大学生協と共同し、「生活困窮する大学生への食の支援」を行いました。大学生の主なアルバイト先である飲食店が営業規制等でバイトの激減、また親の仕送りも減少、そして休校やオンライン授業で友達とも会えずに孤立する大学生への支援として、生協の食品やJAさんの協力による大阪産白米を、大学生に提供しました。

2020年11月から2021年11月まで4回実施し、のべ1万人の大学生を支援しました。2022年6月からは、JAさんから大阪産白米を、大阪府漁連さんから、大阪湾で獲れたじゃこやシラスを、弊会が購入し大学生協に提供、大学生協食堂で安価なメニューで提供する方法に変更し実施しています。大阪産のお米や、大阪湾で獲れたお魚、「おおさかもん」を知って食べる地産地消の取り組みとして、また、農協、漁協、生協など協同組合を知ってもらう機会として、今後も続けてまいります。

◇筆者の紹介(こやま まさと)

1965年埼玉生まれ、大阪育ち、奈良在住。1984年大阪いずみ市民生活協同組合に就職、2008年大阪府生活協同組合連合会に移籍。現在に至る。